

書道を通して身につく精神性

—城山保育園—

日本には、道という字がついた文化があります。書道、華道、柔道、茶道等は、日本の精神文化を代表する伝統芸道です。

書道は今から約1200年前に中国から王仁（わに）が漢字を持ちこんだことに始まります。古くは漢字から派生した仮名文字で独特の書風がつくられました。

伝統芸道は、「型」から入りますが、「型」を守ること初めて見えるものがあると茶道家に聞いたことがあります。私たちが日本人に綿々と継承されてきた心を次世代に伝える働きをしています。

子どもたちは、書道や論語の素読に取り組んでいます。難しいことは分かりませんが、しかし、続けてやることによって、分からないことがいつの間にか分かってくるのです。

書道から学ぶものは、忍耐力、観察力や創造力等が身につくとともに精神性が高まり、将来の人間形成に大きく影響します。まさに、今求められている心の教育でもあります。

餅つき体験…みどりの学校ファーム…



11月10日、学校応援コーディネーターの関根高義さん（御堂）や保護者の皆様のご協力により東小学校5年生の児童が餅つき体験を行いました。

一人ずつ順番に重いきねを振り上げ、餅をつきました。つきたての餅に、あんこやきな粉をまぶして、児童全員でおいしくいただくことができました。

参加した子どもたちは「楽しかった！またお餅をつきたい」と笑顔で話していました。

子どもたちの目の輝きを感じたすばらしい収穫祭でした。

来の人間形成に大きく影響します。まさに、今求められている心の教育でもあります。

城山保育園長



新型インフルエンザ相談センターの開設

新型インフルエンザに関する平日夜間や休日の電話相談に対応する埼玉県インフルエンザ相談センターを開設しました。

開設期間 11月4日から
3月31日（予定）まで
相談時間 平日 午後5時～午前0時
休日 午前8時～午後5時
（土・日・祝日・12月29日から翌年の1月3日まで）
電話番号 0570-06-9077
（IP電話およびPHSからは048-822-5979）
問合せ 埼玉県保健医療部疾病対策課
☎048-830-3572

一人ひとりにしてほしいこと…インフルエンザ対策…

インフルエンザは人から人へとうつっていきます。自分一人だけで健康を守ることは難しく、家族や友人、職場の仲間たちと一緒に協力して守る必要があります。次のことを心がけ、予防に努めましょう。

1. 正しい衛生習慣を身につける

外出から帰ったら、手洗い、うがいを必ずしましょう。手洗いは、せっけんを手首や指の間までしっかりと洗い、よく乾かすか清潔な布などできれいにふきましょう。

2. マスクの着用

人にうつさないために人ごみではマスクを着用しましょう。熱や咳、くしゃみなどの症状のあるときにはマスクをしてください。

3. せきエチケット

咳やくしゃみは見えない唾液を飛ばしています。マスクをしていないときに咳やくしゃみをするときは、ティッシュペーパーなどで口と鼻をおおい、顔を他の人には向けずに、できれば1m以上離れましょう。

4. 助け合いの輪をつくっておく

流行期に一人きりで困る人を助けられるように考えておきましょう。